

【「子ども☆ミライ会議」2040年の八王子～八王子はわたしたちがつくるまち～】



子ども企画委員ニュース No.3



令和5年（2023年）8月20日

8月20日(日)、小学5年生から中学3年生までの24名が参加し、学園都市センターセミナー室にて、「子ども☆ミライ会議 第3回子ども企画委員ワークショップ」を行いました。



11月4日(土)・5日(日)に、東京たま未来メッセで開催される「日本遺産フェスティバル in 桑都・八王子」に合わせて開催される「子ども☆ミライ会議」の事前のワークショップです。

本番前の最後のワークショップのため、参加した子ども企画委員からは、真剣な眼差しで意見交換や作業をする様子がありました。



子ども企画委員は、第2回子ども企画委員ワークショップで「桑都日本遺産センター八王子博物館(はちはく)」の学芸員からレクチャーを受けた後、各自でインターネットや図書館等を利用して、さらに学びを深めていた様子でした。なかには、市役所の文化財課を訪問し聞き取りを行った子ども企画委員もいました。

お互いに調べてきた内容についての情報交換を行い、各グループのテーマについて、当日、市長や教育長に発表したい意見の内容を話し合いました。

話し合いでは、何を一番に伝えたいのか、そのように考えた理由は何か、などを出し合い、学生リーダーやアドバイザー、職員がリードしながらグループの意見をまとめていきました。

『子ども☆ミライ会議』の本番の発表方法や原稿、プレゼンの資料作りなども短い時間の中で行いました。グループごとに「原稿作成者」や「発表者」、「資料作り」など役割を分担し、効率よく話を進めていきました。



原稿作成では、「文字や伝えたいことを“言葉にする”」という面で苦労している様子が見られましたが、上級生や学生リーダーからアドバイスをもらいながら、みんなで協力して作り上げていました。

発表者は、どの部分を担当するか割り振りを決め、本番を想定して実際に言葉に出して原稿を繰り返し読む姿がありました。

グループによっては、言葉だけでは伝わりにくい部分を補うために、様々な方法を考えていました。ポスターやスライドを作成し、より正確に、より印象的に意見が伝わるような工夫があり、大人顔負けのプレゼン資料もありました。時間内に原稿やプレゼン資料が出来上がらなかったグループもありましたが、本番までに完成を目指します。本番が楽しみです。

『子ども☆ミライ会議』の本番は11月5日(日)東京たま未来メッセ 第2会議室で開催します。

【問い合わせ先】 八王子市子ども家庭部 青少年若者課 川口児童館 (Tel)042-654-4757